



# 竜北中図書館通信



## ☆“かき氷”のはじまり

令和4年7月（文責：本田）

かき氷は、平安時代の中ごろに清少納言が書いた『枕草子』にも見られます。けずった氷に甘葛（あまずら）という植物の樹液を煮詰めたものをかけたようです。はじめは、氷を刃で削ってかき氷を作っていましたが、1887年（明治20年）には、氷屋の村上半三郎が、手回しハンドルがついた氷削機を発明し、特許をとりました。



※甘葛（あまずら）とは、ツタ類の樹液からとった甘味料。

参照：『日本はじめて図鑑・田中裕二／監修（ポプラ社）』

## ☆夏休みに読む本の貸し出しについて

○まず今借りている本は、8日(金)・11日(月)に一度、全員返してください。

↓ そのあと...

○夏休みの本の貸し出し 1人5冊まで

7月 13日(水) 1年生

14日(木) 3年生

15日(金) 2年生 の日程で貸し出します。

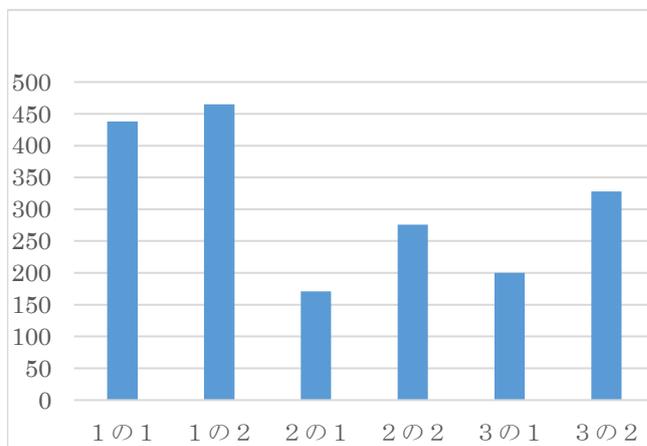
図書室利用の  
順番です。



☆夏休みの図書館開館日については、後日別紙にてお知らせします。

## ☆図書の本の貸し出し状況

(R4年4月～6月末)



クラス	冊数 (一人平均)
1の1	438冊 (14.1冊)
1の2	465冊 (15.5冊)
2の1	171冊 (6.1冊)
2の2	276冊 (10.2冊)
3の1	200冊 (6.3冊)
3の2	328冊 (10.3冊)
合計	1878冊 (10.4冊)

(第68回) 毎日新聞社

読書感想文 課題図書

『 セカイを科学せよ! 』

安田 夏菜／著 (講談社)

ミハイルと葉奈が所属する科学部は、生物班の存続をかけ、成果を示さなければならない。



『 海を見た日 』

M・G・ヘネシー／著 (鈴木出版)

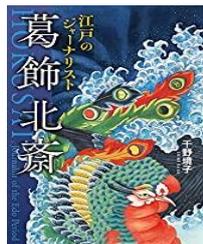
同じ家で暮らしていてもバラバラだった子ども達は、ある日の冒険をきっかけに、心が通じ合い、「本当の家族」になっていく。



『 江戸のジャーナリスト  
葛飾 北斎 』

千野 境子／著 (国土社)

90歳まで絵筆を執った北斎の真の姿。



(第66回) 西日本新聞社

読書感想画 指定図書

『 わたしは  
大統領の奴隷だった 』

エリカ・A・ダンバー／著 (汐文社)

大統領の奴隷オーナは耐えかねて、逃亡を企てた。オーナの熱い思いとは。



『 マレスケの虹 』

森川 成美／著 (小峰書店)

1941年ハワイ。日系2世のマレスケはよろず屋を営む祖父の元で暮らしていたが、真珠湾攻撃を境に環境が変わる。



『 キャンドル 』

村上 雅郁／著 (フレーベル館)

螢一と翔真、花と瑛が織りなす、熱くて切ない絆の物語。

